

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	果実の木 豊成		
○保護者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動内容について、様々な体験ができるようプログラムを実施、児童の自信・自己肯定感向上に繋げている点。	・様々な活動プログラムを行っているが、それぞれ児童に合わせて難易度を変える等、楽しんで参加しつつも目的を持った内容になっていること。	・引き続き、各職員が事業所のコンセプトである「お子様の好き・得意を伸ばして自信に繋げる」ことを念頭に入れ支援を行う。 ・活動について、児童の提案・希望も取り入れ、楽しみながらも長所を伸ばしていく。
2	・同事業所内で保育所等訪問支援を行っている為、学校での課題も事業所で支援可能である点。	・学校での様子・事業所での様子を互いに情報共有することで、統一した支援が行えるようにしている。	・学校だけでなく他事業所との連携も密に取れるよう、相談支援員も交えながら支援を行っている。 ・学校・他事業所それぞれの個別支援計画等の情報を共有し、より児童に合った支援を提供できるようにする。
3	・当日の利用・送迎変更、相談事等、可能な限り保護者の要望を受け入れられるよう体制を整えている点。	・家庭の事情等もある為、予定変更があった場合でも柔軟に対応できるよう職員に周知している。 ・相談事等、保護者が気軽に話せる雰囲気作りを各職員が心掛けている。	・引き続き、保護者からの相談があった場合には真摯に対応し、相談しやすい事業所作りを行っている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・非常時の対応や安全確保の取り組みについて、緊急時の対応マニュアルを整え訓練も行っているが、職員・保護者への周知が足りていないと感じる。	・各マニュアルについて、それぞれ職員が書類を確認しただけでは緊急時にスムーズな対応が難しいと考えられる。ミーティング等での周知が必要と考えられる。	・フローチャートを作成する等、見てすぐに理解できるような工夫が必要。また、職員がより連携できるよう、緊急時の対応についての話し合いをこまめに行っていく。
2	・職員のミーティングへの参加について、常勤職員以外が参加できない時間帯が多くなってしまふ。	・職務内容・勤務時間の都合上、ミーティング参加のできる職員が限定されてしまふ。ミーティングで話した内容は申し送りノートに記載し、確認印を押してもらっているが、参加できなかった職員の意見が反映される機会が少なくなっている。	・ミーティングに参加できない職員には、申し送りノートの確認と口頭で内容を伝え、情報共有を図る。また、毎朝の朝礼の際にも全体に確認、周知していく。 ・情報共有を図った後に、職員と意見交換できる場面を作り、意見を反映できるようにしていく。